

診療所を中核とした地域医療経営人材育成プログラム 授業計画

授業科目名	医療機関事例研究	担当者	松村眞吾	実施月	2026 月 2 月開講
-------	----------	-----	------	-----	--------------

■講義目的

本講義は、診療所等小規模医療機関の経営において重要なトピックスとなる開業、マーケティング、スタッフの養成といった課題、さらにヘルスケアにおける起業などを、ケース教材を使いながらその問題点と課題解決の在り方を明らかにすることを目的としている。受講者は特定のテーマにしたがってグループ研究を行う。受講者は、サービス・マーケティング、地域医療経営を受講していることが望ましい。

■教科書＜著者『タイトル』出版社、出版年＞

独自テキストを使用します。

■各回ごとの授業内容

第1回 1-2 講時 インTRODクシヨン

診療所などの置かれている現状を元にして経営上の問題点を検討します。患者さんにとって価値のある診療所を作っていくためには何が必要なのかを議論します。

第2回 3-4 講時 開業

開業までの準備から開業に至る問題を考えます。立地、資金調達、スタッフの募集など実践的な課題を扱いながら、どのような方法があるのかを検討します。

ケース：扇町ARTレディースクリニックの開業

第3回 5-6 講時 診療効率と患者満足(CS)

集患は、経営の根幹をなす課題ですが、診療所は立地によって患者数がある程度決まってきます。ただし、最終的に経営を回していくためには、患者満足(CS)プラス診療の効率も重要課題です。新しい視点で考えて議論します。

ケース：悠仁会稲田クリニック

第4回 7-8 講時 ヘルスケア事業分野での起業

病院や診療所での診療だけが必要課題なのか。産業保健分野での起業／事業展開を事例に、医療の可能性を広げる取り組みを学び、議論していきます。

ケース：悠仁会グループ

第5回 9-10 講時 スタッフ管理

診療所でのスタッフ管理の問題は、小規模事業所特有の問題でもあります。少人数、多職種のスタッフの管理は経営者にとって大きなストレスとなります。採用から養成までを考えます。

ケース：扇町ARTレディースクリニックのスタッフ管理

第6回 11-12 講時 ICTの導入

電子カルテに代表されるICTの導入は地域における連携にも重要な意味を持ってきます。コストを抑えながらICTの導入、さらにAI活用も考えたDXの現状とこれからの展望、課題について議論します。

ケース：おひさま会

第7回 13-14 講時 グループ研究の発表

本講義で学んだ知識を利用しながら、現実の中小病院、診療所で起こっている問題・課題を検討します。

■授業方法

本講義は講義とケース、実習の組み合わせで行います。グループ研究を実施するに当たっては実際の医療法人にも協力をして貰い経営者の高い意識と実践能力について学びます。

■参考文献＜著者『タイトル』出版社、出版年＞

■成績評価の基準と評価方法

毎回終了後のレポートを提出いただきます。

講義内での発言やグループディスカッションでの貢献、講義への積極的な参加を加味し、総合的に評価します。

■準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連